

# 都市再生整備計画(精算報告)

たかやま  
高山地区

おおさかふ とよのちよう  
大阪府 豊能町

平成24年1月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	大阪府	市町村名	豊能町	地区名	高山地区	面積	180 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

<b>目標</b>
歴史とやすらぎの農村空間の創出 ① 歴史的、文化的資産を活かし、都市と農村との交流促進により観光拠点の創出を行う。 ② 生活環境の改善により、防災性・安全性の向上により快適に暮らせるまちづくりを行う。

<b>目標設定の根拠</b>
まちづくりの経緯及び現況 ・本地区は豊能町の南部に位置し、周囲を北摂山系に囲まれているが、一方で箕面市、茨木市に接していることから、都市部からの玄関口の機能を有しており、地域振興を考える上で非常に重要な位置にあり、そのため本町の地域振興に与える影響は非常に大きい。  ・本地区は高山右近の出生地と言われ、高山マリアの墓があるなど歴史的・文化的資産に恵まれた地域であるが、人々に周知されていないため十分に活用されていない。  ・本地区内に昭和59年に建設された高山小学校が平成17年4月で閉校されるなど、緩やかな高齢化が進んでおり、高齢者が就業や日常生活で活躍できる場は限られることや、家族においては核家族化が進んでいることなど高齢者の生活が大きな問題となっている。  ・本地区は上位計画である「豊能町総合計画」、「豊能町都市計画マスタープラン」によりコミュニティ施設の整備を図り観光レクリエーションの拠点・ルートの整備充実に努める地区と位置付けされている。  ・当計画の作成に当たって、地元推進協議会と検討を進めており、これらを踏まえて歴史的・文化的資産を活用しながら安全・快適に暮らせる賑わいに満ちたまちづくりを進める。
<b>課題</b>
・農村という本地区ならではの特性を活かし、都市と農村の交流における農村空間の将来像ある「歴史とやすらぎの農村空間の創出」に向け、都市と農村との交流を促進することにより、より活発な農産物の交流と都市部住民の参加や協働などのマンパワーを活用した地域の振興を図る。  ・地区の持っている自然、歴史文化遺産や農産物、生活文化などの潜在的未活用資源の活用により、観光客の増加による農村の活性化を図り、本地区を生活が楽しく賑わいに満ちたまちにする。
<b>将来ビジョン(中長期)</b>
「豊能町総合計画」・・・高山地区の「真菜まつり」や歴史的資源をPR・活用した南地区の観光拠点化を図る地域

<b>目標を定量化する指標</b>							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地区来訪者数	人/年	観光入込客数	交流活動の拠点の整備により地区施設の利用者の増加	450	平成16年度	700	平成22年度
狭隘道路率	%	地区内道路の狭隘率	道路の拡幅整備により生活環境の向上及び防災性・安全性の向上	68.8	平成16年度	35.9	平成22年度
消防水充足率	%	有効消火栓から半径140m内の面積	有効消火栓の設置により防災性が向上	50.0	平成16年度	70.0	平成22年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・歴史的資産・地域資源を活かし、都市と農村との交流促進により観光拠点の創出を行う。</p> <p>歴史的資源を活用した南地区の観光拠点化のまちづくりを図る。また、避難所に指定されており、地域の防災機能の向上を図る。</p> <p>都市住民を中心とした交流活動の拠点として整備を行う。</p> <p>旧高山小学校の廃校を整備し、都市住民と農村の交流を推進する。誰もが集えるやすらぎ空間を整備し、人々が賑わえる空間を創出する。</p>	<p>既存建造物活用事業： 旧高山小学校の整備</p> <p>事業活用調査： 旧高山小学校</p> <p>まちづくり活動推進事業： 真菜まつり実行委員会助成</p>
<p>・地域環境の改善により、防災性・安全性の向上により快適に暮らせるまちづくりを行う。</p> <p>災害時における消防、救助、救援活動を支障無く行うため、緊急車両の進入が困難な区間を拡幅し安心して暮らせるまちづくりを行う。</p> <p>旧高山小学校を拠点として日本のふるさとを体験できるルートを整備し、人の賑わいによるまちの活性化を図る。</p> <p>なお、地域防災計画で避難所に指定されている旧高山小学校を活用し整備を行う</p> <p>狭隘部な町道部の拡幅に伴い、消防自動車の走行が可能となる。しかし、既設水道管がφ 50であるため、既存の消火栓は、山林用消火栓である。このため、火災時には有効に利用することが困難であるため、既設配水管をφ 75に布設替えし、有効消火栓に改良するものである。</p>	<p>道路： 町道向町1号線、町道向町2号線、町道サワノクボ線、町道南町線、町道向町3号線の整備</p> <p>地域生活基盤施設： 山林用消火栓を有効消火栓に整備</p> <p>既存建造物活用事業： 旧高山小学校の整備</p>
<p>その他</p> <p>提案事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業活用調査</li> </ul> <p>旧高山小学校を地域活性の拠点として整備を図るため、地区住民の参加を求め、整備計画を策定しまちづくりを推進する。</p> <p>今後のまちづくりを検討するための事業効果の分析に関する調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ まちづくり活動推進事業</li> </ul> <p>地区特産品の真菜に附加価値を高めるためにイベントを開催し、参加者数の増加を図るとともに、真菜の認知度を高める。</p>	





# 高山地区（大阪府豊能町）整備方針概要図

目標	歴史とやすらぎの農村空間の創出	観光入込客数（人／年）	450（平成16年度） → 700（平成22年度）
	① 歴史的、文化的資産を活かし、都市と農村との交流促進により観光拠点の創出を行う。	地区内道路の狭隘率（%）	68.8（平成16年度） → 35.9（平成22年度）
	② 生活環境の改善により、防災性・安全性の向上により快適に暮らせるまちづくりを行う。	消防水利充足率（%）	50.0（平成16年度） → 70.0（平成22年度）

